

アクセス方法  
 <電車>  
 上り常磐線土浦駅から上りバス関東東・江戸崎行き(土浦線)に乗換え、江戸崎駅(バス停)下車。  
 そこから、タクシーで20分。  
 または、上り成田線在原駅からタクシーで20分。  
 <車>  
 首都圏中央連絡自動車道「稲敷IC」より車で30分。  
 または、東関東自動車道「大栄IC」より車で30分。

memo



小さな旅 ホームページ  
<http://nhk.jp/kotabi>

# 小さな旅

～こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 174

白きたからもの  
 ～茨城県 稲敷市～

2015年1月25日(日) 放送



地元のお母さんたちの集まりを「ゆきさん」と言いま  
 す。いわゆる女子会です。並ぶのは、れんこん料理。名  
 人の根本とし子さん、もともとれんこん農家で、今  
 は料理を生きがいとして、地元の人たちにれんこん料  
 理をふるまっています。パーティーは、20種類ほ  
 どもあり、日々新たな料理が生まれています。根本さ  
 んの一番のおすめは、れんこんを甘辛く煮込んだ  
 「丸煮」です。

## 地域つなぐれんこん料理

旅の見どころ 3



浮島地区で最年少のれんこん農家・宮本翔太さん(2  
 2歳)は、1年ほど前かられんこん作りで「チヤリンジ  
 ン」です。祖父が始めたれんこん農家を継ぐため  
 作ります。祖父が始めたれんこん農家を継ぐため  
 作り。氷点下の気温の中、日々、祖父の技術を習得し  
 ようと奮闘しています。「日本一のれんこんを作る」とい  
 う祖父の夢は、今、翔太さんの夢になっています。

## 祖父から受け継ぐれんこん作り

旅の見どころ 2

旅の見どころ 1

## 浮島のれんこん

霞ヶ浦に面した稲敷市は、豊かな土壌と水に恵まれ、古くから米作りが盛んでした。しかし、減反政策が進められ、米に代わって奨励されたのが、れんこんです。田んぼの土を深く掘り下げて、やわらかい土壌を作り、肥料も工夫するなど苦勞を重ねました。冬、浮島地区では、れんこんの収穫が最盛期。浮島のれんこんは、白く甘みがあると、評判です。地区の半分を占める広さのれんこん畑では、およそ70軒の農家が、収穫にいそしむ姿が見られます。

